

精密加工技術を活かしたMADE in 大阪

株式会社アイキ

公差0.01mm~0.05mmが常に求められる精密な板金加工を行うアイキ。仕事の99%は試作加工で、月間約1000個の試作品を作っている。精密だからこそ作れる機能美を持つ商品開発を進めている。



<http://www.aiki-world.co.jp>

自社が持つ資源を活用した商品開発

さくら精機株式会社

これまで、事務機器や教育特殊機器、製本関連機械などを製造してきた同社には、多岐にわたる商品知識と金属加工のノウハウが蓄積している。そのノウハウと若手人材のパワー、プロデューサーからのアドバイスを活用して、これまでにない、デザイン性の高いホワイトボードを開発。



<http://www.sakura-seiki.co.jp/>

想いをカタチに変える技術

テクノグローバル株式会社

プラスチックの金型製作、特に、小ロットでも初期費用が押さえられるカセット金型を得意としている同社。今回、デザイン性の高いティッシュケース、壁掛け時計を開発。今後、他の商品開発を進めると共に販路開拓にも取り組んでいく。



<http://techno-global.jp/>

72時間の命を守る

株式会社トヨー

小売店の什器を製造するトヨー。新たに「災害対策」商品を開発したとSTADI事業に参加。マーケットで求められる商品の検討を進め、「72時間の命を守る」を切り口とし、インテリアになじむ耐震テーブルの開発を行っている。



<http://www.toyo-osaka.co.jp/>

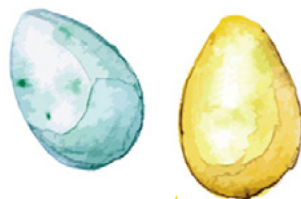
技術や製品の見える化から始まる自社製品の開発

EFLIGO株式会社

高分子ゲル合成技術の開発やその応用製品の製造・販売を行うEFLIGO。同社の香りを保持する技術を活用し、ミントの精油に含まれるメントールの効果で子どもを心地よい眠りにいざなう商品「思ラクらく」の開発を進めている。



<http://www.efligo.com/>



STADI
Yao Strategic Design Innovation

2016
認定企業
10社のご紹介

町工場から生まれた木製玩具の新たな展開

株式会社ノチダ

超多品種小ロット・短納期生産が得意のノチダ。初めてのオリジナル商品として、木製玩具「DOMIGO(ドミゴ)」を開発した。STADI事業に認定され、PR・販促を進める一方、大人と子どもと一緒に楽しめる「DOMIGO world trees」を開発した。



<http://www.nochida.co.jp/>

歴史と企業文化を強みにした商品開発

株式会社加藤数物製作所

「さんすう」の美しさを伝えたいという想いを持つ同社。子どもたちに「さんすう」の面白さを伝えるためのワークショップ(寺子屋事業)をスタートすると共に、数式の美しさをカタチで感じるオブジェを開発。これらのコンテンツを軸に、新たな事業展開を目指す。



<http://www.k-subutsu.com>

地域の人にも「働きたい」と思ってもらえる会社づくり

平金物株式会社

「自社製品を持ちたい」というのは、創業者である先代からの夢。建材の金物メーカーとして培ってきた技術を武器に、工具を使わずに組み立てが可能な箱、子どもが自分で作れる「スマホまんげきょう」など、金属を使った面白味のある商品の開発を進める。



<http://www.taira-k.co.jp/>

「ダイヤの原石」グラファイトの新たな用途開発

株式会社デジック

「滑りが良い」「熱に強い」など、多くの利点を持つグラファイト。現在同社が手掛けている業界以外に展開するため、グラファイトの使用用途を洗い出し、用途展開図として作成。展示会や商談において、幅広い企業と商談するための営業ツールとして活用している。



<http://www.digic.org/>

オンリーワン技術を持つ企業の新たな挑戦

株式会社藤原電子工業

プリント基板のプレス加工において、オンリーワンの技術を持つ藤原電子工業。以前から手掛けているロボット開発の技術を活用し、地域商店の活性化を実現する販売支援ロボットの開発も進めている。



<http://fdk-ltd.jp/>